

<h2>自然との共生を図るまちづくり</h2>	<p>那珂川町は南部を中心に豊かな自然が今もなお残されており、恵まれた自然環境は、今や町の代名詞として定着しています。</p> <p>アンケートにも、町のあるべき姿として自然を「大切にする」「残す・守る」という意見が突出しており、重要度・満足度ともに高い結果が得られています。</p> <p>この結果を尊重し、これまで以上に自然環境に配慮した施策を推進します。</p>
-------------------------	--

方向性		各方向性の具体的な内容
1	<h3>森林や農地の保全</h3> <p>森林や農地を保全するため、森林伐採後の造林の推進や乱開発の防止により森林の水源涵養機能を維持し、また、耕作放棄地への適切な対策等を講じることにより農地を保全し、水と緑があふれるまちを目指します。</p>	森林伐採後の造林の推進
		乱開発の防止
		耕作放棄地への適切な対策等
		農地の保全
2	<h3>ごみ処理</h3> <p>私たちの日常生活とは切り離せないごみの減量化・適切な処理による住みやすく清潔感あふれるまち、あるいは限りある資源の再利用や不法投棄を防止することによる自然にやさしい循環型のまちを目指します。</p>	ごみの減量化
		ごみの適切な処理
		資源の再利用
		不法投棄を防止
3	<h3>自然を活かす</h3> <p>自然と人がとけあう、自然を活かした施策が重要であり、農林業の生産基盤である山林や農地等の資源の有効活用や、地域の特性を活かせる各種産業の育成、さらには自然に親しみ、ふれ合う場の整備などにより、うるおいと安らぎに満ちたまちを目指します。</p>	山林の有効活用
		農地等の有効活用
		各種産業の育成
		自然に親しみ、ふれあう場の整備